

<平成28年度 ハローオリンピズム事業>

オリンピック教室

実施報告書

神奈川県横浜市立西柴中学校

Olympic
Movement



公益財団法人日本オリンピック委員会



現行の学習指導要領は平成21年（2009）4月に公示され、中学校「保健体育 体育分野」及び高等学校「科目 体育」における「体育理論」の領域で、文化としてのスポーツやオリンピック・ムーブメントの意義を学ぶことが明確化されました。そこには、中学校3年生の保健体育の「体育理論」の学習内容に、「オリンピックや他の国際的なスポーツ大会等は、国際親善や世界平和に大きな役割を果たしていること」とオリンピックの意義が明示されております。

これを受けて日本オリンピック委員会（JOC）では、平成23年度（2011）から、体育理論の学習に先がけ、その内容を事前に啓発する目的で中学校2年生を対象に、「ハローオリンピズム事業」の一つとして、授業形式で行う「オリンピック教室」を実施しております。

近代オリンピックの創始者ピエールド・クーベルタンは、人間本来の資質を高めるために、スポーツと文化と教育の側面を持つオリンピックの価値を広めることが相応しいと考え、オリンピック・ムーブメントを推進してきました。JOCもこの価値を若い世代に語り継ぐことは、極めて重要で大切な活動と考えております。日本代表として実際にオリンピックに出場した選手（オリンピック）は、その栄誉を自覚し、競技面だけでなく社会生活の上でも、模範となる行動が求められております。このようなオリンピックがその価値を直接生徒に伝えることで、日頃の授業では味わうことの出来ない感動が生まれることも期待しております。

「オリンピック教室」の授業は、教師役のオリンピックが、オリンピック大会出場に至るまで、あるいは、実際にオリンピック大会に出場して得た貴重な経験等を通して、「エクセレンス」、「フレンドシップ」、「リスペクト」、「努力から得られる喜び」、「フェアプレー」、「他者への敬意」といったオリンピックの価値（バリュー）及びオリンピック精神の教育的価値等を伝えます。また同時に、この価値がオリンピックに出場した選手だけのものではなく、多くの人々が共有し日常生活にも活かすことのできるものであること、さらに、こうした考え方があからこそオリンピックに価値があることを生徒自身に学習してもらうこともねらいとしております。

平成23年に施行された「スポーツ基本法」の前文の一部に「スポーツは、世界共通の人類の文化であり、次代を担う青少年の体力を向上させるとともに、他者を尊重しこれと協同する精神、公正さと規律を尊ぶ態度や克己心を培い実践的な思考力や判断力を育む等人格の形成に大きな影響を及ぼすものである」との記述があります。生徒のみなさんが「オリンピック教室」で学習する内容は、まさにこの基本法に記された精神や態度等を日常生活の中へ具現化することを後押しするものであると考えています。



- 実施目的** : オリンピアン（オリンピック出場経験アスリート）が教師役となり、オリンピック自身の様々な経験を通して「オリンピズム」や「オリンピックの価値」等を伝えると同時に、この価値はオリンピックだけのものではなく、多くの人々が共有し、日常生活にも活かすことの出来るものであることを授業を通して学習してもらう
- 名 称** : JOCオリンピック教室
- 主 催** : 公益財団法人 日本オリンピック委員会
- 後 援** : スポーツ庁
- 協 力** : 公益財団法人JKA、開催地自治体及び同教育委員会
- 対 象** : 中学2年生
- 講 師** : オリンピアン（オリンピック出場経験アスリート）
※派遣オリンピックはJOC側にて選定
- 期 間** : 平成28年4月～平成29年3月 ※原則、平日開催
- 実施校数** : 40校程度
- 実施方法** : クラス単位を基本とし、2コマで1セットの授業

1時限目
運動の時間（50分）



2時限目
座学の時間（50分）



※学校の通常の授業時間をベースに実施

※運動の時間と座学の時間の間に10分の休憩時間があります。



1時限目

運動の時間

オリンピックの専門競技の技術指導（＝スポーツ教室）ではなく、
運動が苦手な生徒も参加できるように工夫されたもの

挨拶（5分）

準備運動（10分）

主運動（30分）

まとめ（5分）



自己紹介
今日の学習内容の確認



準備運動



主運動
（作戦タイム等を受け、
生徒が考える機会を作る）



運動の授業のまとめ

※時間は目安です
※内容はオリンピックによって多少変動する場合がございます

2時限目

国際オリンピック委員会（IOC）が推進する「オリンピックの価値」等を、
オリンピックがオリンピック競技大会出場に至るまで、あるいは実際に
オリンピック競技大会に出場した経験等を通して、分かり易く伝えると
同時に、生徒自身が自分ごととして捉え、今後に活かせるような学習内容

座学の時間

挨拶・自己紹介（10分）

オリンピックの価値を伝える（10分）

グループワーク（20分）

まとめ（10分）



学習内容の確認



写真・映像等を使用
した自己紹介



オリンピック自身の経験に
基づく「オリンピックの価値」等
を伝える



グループ（個人）ワークで
話し合った内容を発表



全体のまとめ/記念撮影

※時間は目安です
※内容はオリンピックによって多少変動する場合がございます



- 期 日 : 平成28年9月13日 (火)
- 場 所 : 横浜市立西柴中学校
- ク ラ ス : 2年3組 (38名)、2組 (38名)
- オリンピック : 長岡 千里 先生 (ボブスレー)
- 授業のながれ: 運動の時間 (1時限、3時限)

1. 自己紹介～授業の目的確認



・長岡先生から自己紹介。オリンピックとは何か、オリンピックは身近にあることに気づいてほしいと授業の目的を確認し、準備体操に移る。

2. 準備体操



3. 主運動



- ・8の字跳びを実施。90秒間に跳べた回数を競うこと、引っかかってしまっても続きから数えること、全3回戦を実施すること、1回戦が終わったら跳べた回数を発表してもらうことをルールとする。
- ・クラス全員で大縄跳びに挑戦。

4. まとめ



- ・運動の時間を振り返ってルールの中で考えて、1つの目標に向かって全員で努力できていたことを伝える。
- ・勝つことだけでなく全員が全力を出せたか、話し合って協力することでチーム力を高められたか、ルールを守ることができたかを確認し、次の座学の時間では、運動の時間で感じたことを班ごとに話し合ってもらおう、と予告して授業終了。



■ 授業のながれ： 座学の時間（2時限、4時限）

1. 自己紹介と授業の目的を確認



2. オリンピックの価値を伝える



- ・長岡先生から座学の時間ではオリンピックを身近に感じられるようになってほしいと目的を伝え、授業開始。
- ・映像を見せながら競技について説明。長岡先生が競技生活の中で感じたオリンピックバリューを紹介。

3. グループワーク



- ・個人で①運動の時間にチームで話し合ったこと、②結果に対して感じたことを書き出し、各班に分かれて意見を共有し、①②で挙げられた意見がどのオリンピックバリューに当てはまるかを考える。
- ・回す速さを変えたら記録が伸びて嬉しかった（エクセレンス）、全員で声を合わせて跳んだらチームワークがよかった（フレンドシップ）、跳ぶのが苦手な人を得意な人で挟むように並び方を変えたことでチームメイトに思いやりを持つことができた（リスペクト）等の意見が挙げられた。

4. まとめ



- ・トリノ大会のゴール時の写真を見せながら、オリンピックは選手だけのものではなく、それを作っているスタッフやカメラマン、観客等、多くの人が一緒に作り上げているもので、オリンピックバリューはみんなの生活の中で身近にあることを知ってほしいと改めて伝える。
- ・2018年には平昌、2020年には東京でオリンピックが開催されるので選手、サポーター、カメラマン等様々な立場でオリンピックに携わってほしい。これからの人生の中で挑戦できる可能性がたくさんあるので、様々なことに挑戦して、失敗もしながら、成長してほしいと伝え、授業終了。



- 期 日 : 平成28年9月13日 (火)
- 場 所 : 横浜市立西柴中学校
- ク ラ ス : 2年1組 (38名)
- オリンピック : 加藤 ゆか 先生 (水泳・競泳)
- 授業のながれ : 運動の時間 (5時限)

1. 自己紹介～授業の目的確認



・加藤先生から自己紹介とリオデジャネイロ大会での水泳・競泳の結果に触れた後、準備体操に移る。

2. 準備体操



3. 主運動



・大縄8の字跳び (90秒×3回) を実施。90秒間で跳べた回数を競う。一生懸命やること、楽しむこと、協力することを約束する。

4. まとめ



・各班の記録が回を重ねる毎に更新できていたことを称える。運動も勉強も挑戦することが大切であり、それがオリンピックバリューにつながっていると話し、運動の授業を終えた。



■ 授業のながれ： 座学の時間（6時限）

1. 自己紹介と授業の目的を確認



2. オリンピックの価値を伝える



・加藤先生が出場したオリンピックの映像を見ながら、大会には色々な国と地域から多くの人々が集い、スポーツを通じた国際交流、世界平和を目指して開催されていることを説明し、加藤先生がオリンピックを目指す過程で経験したオリンピックバリューについて伝える。

3. グループワーク



・運動の時間を振り返り、①各班で立てた目標や考えた作戦を書き出す、②目標を達成、作戦を実行できたか、③それらがどのバリューに当てはまるかを考える。
 ・一生懸命取り組んだ、より多く跳ぶことを意識した（エクセレンス）、声を掛け合って頑張った、失敗してもフォローした（フレンドシップ）、回すペースを遅くして跳びやすかった（リスペクト）等の意見が挙げられた。

4. まとめ



・オリンピックバリューは皆の身近にあるもので、今日の授業を通して、オリンピックというものを身近に感じる事ができたかを確認。
 ・2020年には東京でオリンピックが開催されることに触れ、選手として出場するだけでなく、ボランティア等様々な形でオリンピックを作り上げることができるので、ひとりひとりが努力して、仲間を思いやりながら過ごしてほしいと伝え、授業を終了



■ 集合写真

2年1組



2年2組



■ 集合写真

2年3組



■ 記念品贈呈

■ 2年1組



■ 2年2組



■ 2年3組



■ 証明書贈呈

